

平成22年11月

逗子市教育委員会定例会

平成22年11月15日

逗子市教育委員会

会 議 録

平成22年11月15日逗子市教育委員会11月定例会を逗子市役所5階第5会議室に招集した。

◎ 出席者

委 員 長	村 松 邦 彦
教 育 委 員	竹 村 史 朗
教 育 委 員	山 西 優 二
教 育 委 員	桑 原 泰 恵
教 育 長	青 池 寛
教 育 部 長	柏 村 淳
教 育 部 次 長 社会教育課長事務取扱	杉 山 光 世
教 育 総 務 課 長	原 田 恒 二
教 育 総 務 課 主 幹 (施 設 整 備 担 当)	永 島 重 昭
学 校 教 育 課 長	奥 村 文 隆
学 校 教 育 課 主 幹	川 名 裕
教 育 研 究 所 長	川 村 信 敏
図 書 館 長	小 川 俊 彦
図 書 館 館 長 補 佐	鈴 木 明 彦
市民協働部文化振興課長	間 瀬 勝 一

事務局

教育総務課教育総務係長	佐 藤 多 佳 子
教 育 総 務 課 主 任	土 屋 直 之

- ◎ 開会時刻 午前10時00分
- ◎ 閉会時刻 午前10時53分
- ◎ 会議録署名委員決定 桑原委員、山西委員

○村松委員長

それでは、会議に先立ち、傍聴の皆さんにお願いいたします。傍聴に際しては、入口に掲示されております注意事項をお守りくださるようお願いいたします。なお、報道関係者以外の録音、写真撮影につきましては、許可しておりませんので、御了承ください。また、教育委員会の議決により、秘密会にすべき事項と思われる案件が出されたときには、退場いただく場合がありますので、御了承ください。

○村松委員長

定足数に達しておりますので、ただいまから平成22年逗子市教育委員会11月定例会を開会いたします。

それでは会議に入ります。本日の会議日程はお手元に配付したとおりでございます。

会議規則により、本日の会議録署名委員は桑原委員、山西委員をお願いいたします。

これより会議日程に入ります。

◎日程第1「教育長報告事項について」

○村松委員長

日程第1「教育長報告事項について」を議題といたします。

教育長から御報告をお願いいたします。

○青池教育長

それでは、前の教育委員会定例会の後の報告をさせていただきます。

まず、10月21日、県都市教育長会議がありました。鎌倉の芸術館で行われました。会長のあいさつの中で、教師の不祥事についての綱紀粛正等々について、各教育委員会のほうでも徹底をお願いしたいというような話が1点ありました。

2点目以降は会務報告の後、役員選挙に入り、きょう11月15日の総会で正式発表されるわけですが、逗子市としましても昨年に引き続き県市町村教育長連合会の幹事ということで任命されております。

10月22日、第60回逗子市文化祭開会式典において、主催者側としてのあいさつを行いました。10月の22日から11月14日の期間中、30の芸能部門と展示部門が発表され、市民の皆さんがいろいろな意味で参加されたと思っております。

10月25日より逗子小・中における各委員さんと一緒に学校訪問をしました。特に25日の小坪小学校では、高木教授と懇談、及び研究会参加が行われました。

10月27日、三浦半島教職員組合との23年度の予算交渉がありました。

11月1日、逗子市文化振興基本計画についての教育委員会の勉強会がありました。また担当のほうからお話があると思います。

11月5日、小学校5校による小学校音楽会がなぎさホールで行われました。元気な子供たちの声を聞いて、なごみました。各校とも練習の成果を十分発揮していたと思っております。この発表会には市長さんも会場に来てくれました。

以上、報告を終わります。

○村松委員長

はい、ありがとうございます。引き続き、はい、どうぞ。教育部長から。

○柏村教育部長

それでは、平成22年逗子市議会第4回定例会の概要につきまして御報告させていただきます。市議会第4回定例会は、会期を11月4日から11月18日までの15日間として現在開催されておりますが、ここでは本日までの審議経過について御報告させていただきます。

今定例会の付議事案として、報告が1件、議案が閉会中継続審査案件である議員提出議案1件を含む8件と、陳情が閉会中継続審査案件9件を含む18件が上程されました。そのうち教育部に係る案件について御報告いたします。

まず、招集日の11月4日の本会議におきまして、会期の決定がなされた後、全員協議会において市長報告が行われ、続いて行政委員会等報告として前回の定例会で可決いただきました逗子市教育委員会点検評価に関する報告書についてを教育委員会から報告をいたしました。その際に受けた質問の詳細につきましては、お手元にお配りした質疑応答の内容となっております。

その後、再び本会議が開催され、教育部より専決処分の報告をいたしました。詳細は、後ほど御説明いたしますが、国指定史跡名越切通に隣接する墓地において、本市所有の崖面からの落石により墓石周辺施設を破損させた事故に対する損害賠償について、示談が成立いたしましたので、専決処分をした報告でございます。

その後、即決で可決された議案1件を除き、議案及び陳情が各常任委員会に付託された後、本会議は終了いたしました。

翌日の11月5日には教育民生常任委員会が開催され、職員の人事異動及び給与改定等に伴う職員給与費の不足額及び不用額を内容とした平成22年度逗子市一般会計補正予算（第3号）の審査のため、教育部から関係職員が出席いたしました。本件を含む補正予算の4議

案は、全会一致で可決されております。

11月8日は総務建設環境常任委員会、翌9日は基地対策特別委員会が開催されました。

以上が先週までの市議会第4回定例会の概要でございます。今後につきましては、あした16日に本会議が開催され、補正予算等の議案6件の委員長報告と表決が行われ、陳情の委員会審査結果の報告がなされる予定でございます。その後、一般質問に移行し、18日をもって閉会となる予定でございます。以上で報告を終わります。

○村松委員長

はい、ありがとうございます。ただいま教育長、教育部長から報告いただきました。何か本件につきまして御質疑、御意見はありますでしょうか。はい、どうぞ。

○桑原委員

教育長の報告の中で、学校へ行こう週間のほうで、学校をいろんな形で訪問をしたというお話があったんですが、教育委員会としては教育委員のメンバーも各学校に訪問させていただきましたので、感想や意見を皆さんからも伺いたいと思いますが、ちょっと私も今お話しさせていただきます。

私は、8校中6校訪問させていただきました、さらにその間にあった合唱祭、久中と小学校訪問と、あと先日、久木小学校の芝生の上でバザー、フリーマーケットがありましたので、そんなところも報告をさせていただきます。

まず、学校へ行こう週間で各校を回った全体としての感想、意見なんですが、天候が悪い日もあったんですが、保護者の方が多く参観にいらしているなということは、率直に思いました。こういった取り組みが周知されたり、より学校に対して意識を持った保護者の方が増えているのかなというのは、うれしく思いましたし、これから小学校や中学校に入るという方の参観も多く見られたので、こういう形で情報がいい形で広まったり、意識が向くということはぜひいい形で伸ばしていきたいなというふうに感じました。それから、先生方がですね、校内でも良く連携されて、いわゆる授業とか生活態度に対して積極的に取り組まれているなという感想を持ちました。そういった意味では、逗子市の先生方の力というか、そういったものは非常に潜在的にはあるんじゃないかということでは、非常に心強く感じたところです。

さらに、あるところでは、学校だけの問題とは言い切れないことがあると思いますので、今後PTAや地域の方と、よりいい形で情報交換を研究していくという方向は模索していく必要があるのかなというふうに感じました。

そういったことに関連して、久木小学校の地域支援本部の活動の中で、芝生の上のイベントがあったんですね。フリーマーケットというかバザーの。それがモデル校として久木小が最初で始まったと思うんですが、コーディネーターを中心に学校をサポートしていく地域の取り組みの大きなイベントとして、今年度が4回目なんだそうですが、そういった意味では当初、かなりこういった概念を理解して、学校・地域・保護者に理解してもらうこと。こういったイベントを、運営委員会という形ではなくて、コーディネーターが居て保護者の知的な参加を募るような、そういったやり方を模索されていたと思うんですが、だんだんそういった仕組みが理解されて、お手伝いすることが増えたように思いますし、また、どんな方が来てもその行事を手伝えるような、そういった工夫が随分されて、慣れているなということを感じました。なので、こういう取り組みがまたさらにうまくいくように、私たちとしてもそのような会に参加したり、御意見を伺ってサポートできればというふうに感じました。

私からは以上です。

○村松委員長

はい、ありがとうございます。そのほかありますでしょうか。はい、どうぞ。

○竹村委員

桑原委員からお話がありました学校へ行こう週間で、私も何校か回らせていただきました。おおむね、今、委員がおっしゃった、特に学校の先生たちの潜在能力を含め、一生懸命おやりになっているということは見て感じ取ることができました。ただ、回っている中で問題点も私なりにいくつか感じることもありまして。一つは、厳しい感想になるかもしれませんが、例えば小学校高学年の男子児童に対して、若い先生、教員の方の声がなかなか届いていないというふうに学級の現状を見ました。これはよく全国的にも言われているようなことの一つだと思われませんが、児童の心に配慮しながらも、私としてはだめなものはだめなんだという毅然とした態度で学級運営なり授業に臨んでいただけるような、そういうふうに若い先生に育っていただきたいなというふうに考えていますが、こういったことについて、もしお答えいただけるとしたら、今後の改善する方向性みたいなものがあれば、お示ししたいと思います。

○村松委員長

はい、ありがとうございます。どうですか。はい、どうぞ。

○奥村学校教育課長

ただいま御指摘のように、いわゆる若手の人材育成というのは、これからの本市にとって

非常に大きな課題の一つになるだろうと認識しております。まず、今のお話は児童・生徒指導の部分かと思いますが、それだけにかかわらず、授業をどういうふうに進めていくかということについても、若手の先生方、研究をしていただかないとということはあるかと思えます。今現在の取り組みといたしましては、1つは、これまでも取り組んでまいりましたけれども、本年度から8校すべてに授業研究を本市の教育委員会としては委託をして、授業研究を学校全体で取り組んでいただくというのが1つです。それから、いわゆるOJTというふうに言われますけれども、各学校、校長先生を中心として、先輩教員が若手の先生方をどういうふうに育てていくかということを考えていただけるというところが1つ。また、指導教員の派遣というのを、教育研究所2名、学校教育課1名の指導教員ということで、原則は臨任の先生、非常勤の先生方の特に若手の方ということで、指導に入っているんですが、実際には常勤の先生方についてもいろいろな相談をその場で受けたりということがありますので、指導教員の先生方による指導といったようなことも今後調査していきたいと思っております。以上です。

○村松委員長

はい、ありがとうございます。その他ございますでしょうか。はい、どうぞ。

○竹村委員

厳しいことを申し上げたので、1つ大変すばらしいなというふうに思ったことも述べさせていただきます。これは沼間中学校の合唱発表会を聞いたんですが、大変すばらしいものでした。合唱の内容もすばらしく、特にハーモニーが大変美しかったです。特に3年生の発表は特別にすばらしいものだなというふうに感じました。何よりも教職員の皆さんと生徒たちが一丸となって行事を成功させようという真剣な態度を見ることができ、とても気持ちがよかったなあというのが率直な感想です。学校全体の前向きなエネルギーを感じることができ、行事の一つのすばらしさということも含めて、大変いい合唱だったというふうに申し上げておきたいと思えます。

○村松委員長

はい、ありがとうございます。その他ございますでしょうか。はい、どうぞ。

○山西委員

じゃあ、私もすばらしかった一つの。先ほど教育長の御報告にもありましたように、小坪小で行われた横浜国大の高木先生との懇談会、さらには研究会に参加させていただいて、高木先生、かなり厳しく指導していただいている姿を、またそれをもとにしながら先生方が熱

心に、まさしく研究さらには研修にかかわっている姿、厳しさゆえにやはりすばらしいなど、私自身は改めて感じたところがあります。高木先生のおっしゃる従来の教育観もしくは学力観ではない、子供たちにもっともっと丁寧にいろんなものを聞き取っていくような力であるとか、そのプロセスで、待つことの大切さであるとか、それは子供にとってもそうですけれども、教員にとってもそうだろうし、ただ従来のように「はい、わかりましたか」と先生が情報を投げて、そしてわかった人に手を挙げてもらって授業をつくっていく、そういった意味での教育観や方法ではないプロセスの大切さということ、かなり丁寧に、また厳しく先生同士で話し合いながら、そのプロセスをつくっていかれてるというところに、当然私たち教育委員の中でも私たちなりの教育観、学力観ということについて話し合う場があるわけですが、そこはすごくいい意味で重なり合っているというところに改めて安心しつつ、また先生方もそういった中で、厳しい中で研究会をやられていることが、私自身も改めてすばらしいと感じました。

○村松委員長

はい、ありがとうございます。そのほかございますでしょうか。

私もちょっと感想をさせていただきますと、かなり各校とも保護者が参加が大変多く見られたということ、熱心な両親というか、父兄というのがいらっしゃるなど。こういった方々が終わった後、いろいろと情報収集、多分アンケートとか何かやってみましたっけ。そういう情報収集しながらですね、率直な意見をやはり聞かせてもらって、取り入れていくということも開かれた学校教育として必要ではないかなというふうに思います。昔とは参考にならないくらいですね、保護者が来られているということで、我々の時代から見ると時代が変わったなという感じがいたしますけれど、そういう中で保護者の方の意見といったものが取り入れていかれる。参考になる場合とならない場合があるとは思いますが。そういった情報収集というのも積極的にやったらいいんじゃないかなという感じがいたしました。

その他、何かございますでしょうか。よろしゅうございますか。それでは、御質疑、御意見がないようですので、教育長報告事項については終わりいたします。

◎日程第2「報告第10号議案（平成22年度逗子市一般会計補正予算（第3号））作成に伴う逗子市教育委員会の意見聴取に対する回答について」

○村松委員長

日程第2「報告第10号議案（平成22年度逗子市一般会計補正予算（第3号））作成に伴う

逗子市教育委員会の意見聴取に対する回答について」を議題といたします。事務局より報告をお願いいたします。

○原田教育総務課長

報告第10号議案（平成22年度逗子市一般会計補正予算（第3号））作成に伴う逗子市教育委員会の意見聴取に対する回答について報告申し上げます。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条により、市長から議案（平成22年度逗子市一般会計補正予算（第3号））作成に伴う意見を求められ、その回答に急施を要したため、逗子市教育委員会教育長に委任する事務等に関する規則第3条第1項の規定に基づき、別紙のとおり平成22年10月22日付で教育長の臨時代理により行いましたので、同条第2項の規定に基づき報告し、承認を求めるものです。

それでは、議案の内容について御説明いたします。平成22年度逗子市一般会計補正予算（第3号）に関する説明書をお開きください。

歳出のうち、教育費について御説明いたしますので、説明書の26ページ、27ページをお開きください。第9款教育費、第1項教育総務費、第2目事務局費から30ページ、31ページの第5項保健体育費、第1目体育振興費までにつきましては、職員の人事異動及び給与改定等に伴い、職員給与費の不足額及び不用額をそれぞれ見込み計上するものであります。結果、教育費全体として5,171万1,000円を減額するものです。

以上で報告を終わります。

○村松委員長

はい、ありがとうございます。本件について御質疑、御意見はありますか。

よろしゅうございますか。それでは、御質疑、御意見がないようですので、本件については承認することよろしいでしょうか。

（ 全員異議なし ）

はい、ありがとうございます。御異議がないようですので、承認することに決定いたしました。

◎日程第3「委員長の選挙について」

○村松委員長

日程第3「委員長の選挙について」を議題といたします。

事務局より御説明をお願いいたします。

○原田教育総務課長

委員長の選挙について説明させていただきます。村松委員長の委員長としての任期が11月18日で満了することにより、選挙を行うものでございます。地方教育行政の組織及び運営に関する法律第12条の規定は、教育委員会は教育長を除く委員のうちから委員長を選挙しなければならない。委員長の任期は1年とする。ただし、再任されることができるとあります。今回選任される委員長の任期は、平成22年11月19日から平成23年11月18日までの1年間でございます。説明は以上でございます。

○村松委員長

はい、ありがとうございます。それでは、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第12条第1項の規定に基づき、委員長の選挙を行います。

まず、選挙の方法について、投票または指名推選の方法がありますが、どちらの方法で行ったらよろしいでしょうか。御意見をいただきたいと思っております。投票または指名推選、両方の方法がございます。

○山西委員

この人数ですので、また従来もこの方法をとられていますが、私は指名推選でよろしいと思っておりますが、いかがでしょうか。

○村松委員長

ただいま山西委員より指名推選との御意見がありました。これに御異議はありませんか。

(「異議なし」の声多数)

はい、ありがとうございます。それでは、異議なしと認め、指名推選をとらせていただきます。

次に、指名推選の指名者をどなたにしたらよろしいでしょうか、御意見をいただきたいと思っております。

○桑原委員

私としては竹村委員にお願いできればと思っております。

○村松委員長

ただいま桑原委員より、竹村委員を指名者にとの意見がありました。これに御異議ありませんでしょうか。

(「異議なし」の声多数)

はい、ありがとうございます。

○竹村委員

それでは、私のほうから指名させていただきます。私としては引き続き村松委員に委員長をお願いしたいと思います。

○村松委員長

ただいま、委員長に私、村松との指名推選がありました。お諮りいたします。ただいま指名推選がありました私、村松を委員長とすることに異議はありませんでしょうか。

(「異議なし」の声多数)

御異議がないようですので、私、村松を当選人と定めさせていただきます。委員長に決定いたします。よろしくお願ひいたします。

それでは、委員長を引き続きというお話がございました。とにかく今まで委員長としてやってまいりましたけれど、本当にきちっとやってきたかどうかということは、なかなか難しい問題ですけれど、逗子市の教育行政といったものは非常に大切でございますし、いろいろな組織変更があったりしてですね、教育委員の役割というものもますます重要になってきていると、世の中はこういう状態になった中では、特に教育というのは大事だということは実感しております。いろいろと最近、教育委員会としては現場をかなり皆さん訪問されて、実態をしっかりとつかんで、そして行政に対して物申しながら、よりよい教育活動を推進していかうという機運が委員の皆さんからかなり出てきております。そういった意味では、逗子の教育委員会というのは、割に自負じゃないけれども活性化しているんじゃないかというふうにも思っておりますし、今後とも現場といったものをしっかりと把握していきながら、さらなる教育行政の発展、そして逗子の子供たちの未来、将来ということにわたってですね、大きく花開くような教育を推進できればというふうに思っております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

これで委員長の選挙について終わりいたします。

◎日程第4「委員長職務代理者の指名について」

○村松委員長

日程第4「委員長職務代理者の指名について」を議題いたします。

事務局より説明をお願いいたします。

○原田教育総務課長

委員長職務代理者の指名について御説明いたします。ただいま委員長の選挙が終了し、村松委員長が再任されましたので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第12条第4項の規定に基づき、委員長職務代理者についての委員会の指名をお願いするものでございます。任期は、委員長と同じく平成22年11月19日から平成23年11月18日までの1年間でございます。よろしくお願いたします。

○村松委員長

はい、ありがとうございます。委員長職務代理者の指名は、これまで委員長から指名をさせていただくという形で行われてまいりました。引き続き委員長に選出いただいた私から指名させていただくということによろしいでしょうか。

(「異議なし」の声多数)

それでは、御異議なしと認め、私から委員長職務代理者を指名することとさせていただきます。委員長職務代理者には引き続き竹村委員をお願いしたいと思います。ただいまの私の指名について御異議ありませんでしょうか。

(「異議なし」の声多数)

よろしゅうございますか。それでは御異議なしと認め、委員長職務代理者は竹村委員に決定いたします。では、竹村委員、一言ごあいさつをお願い申し上げます。

○竹村委員

引き続き委員長職務代理者を務めることになりました。今、先ほど委員長もおっしゃっていましたが、逗子の教育の発展のため、子供たちのいる未来のために力を尽くしたいと思います。特に私の役割としては、活発な教育委員会の一助になればというふうに考えておりますので、今後ともどうぞよろしくお願いたします。

○村松委員長

はい、ありがとうございました。今後ともよろしくお願いたします。これで委員長職務代理者の指名についてを終わりといたします。

◎日程第5「その他」

○村松委員長

日程第5「その他」を議題といたします。

その他、議事として何かありますでしょうか。はい、どうぞ。

○杉山教育部次長

1点事故報告をさせていただきます。平成22年8月6日、逗子市久木9丁目1862番4におきまして、逗子市所有の崖面、国指定史跡名越切通の大切岸を含む崖面の岩が落下し、崖下の法性寺の墓地と墓石周辺の柵と塔婆立てを損傷いたしました。なお、これに対する損害額7万6,125円を賠償することとして、相手方と示談が成立しております。また、示談が成立したことにより、地方自治法第180条第1項の規定により、損害賠償について専決処分をさせていただきます、平成22年市議会第4回定例会で報告をさせていただきました。以上で報告を終わります。

○村松委員長

はい、ありがとうございます。本件について御質疑、御意見ありますでしょうか。

よろしゅうございますか。はい、ありがとうございます。ほかに何か議事としてありますか。はい、どうぞ。

○小川図書館長

図書館協議会委員の叙勲の受章について御報告申し上げます。平成22年秋の叙勲で、逗子市立図書館協議会委員で会長の伊藤尚武さんが瑞宝重光章を受章されましたので、御報告申し上げます。伊藤さんは元国立国会図書館の副館長で、現在小坪にお住まいになっていらっしゃいます。それと、瑞宝重光章というのは、過去の勲二等に当たる褒章でございますので、御報告申し上げます。以上です。

○村松委員長

はい、ありがとうございます。それはおめでとうございました。本人にもお伝えいただければというふうに思います。何か御質疑、御意見ありますでしょうか。

よろしゅうございますか。それでは、大変おめでたい受章で、逗子としても誇りになるのではないかというふうに思っております。

その他、議事として何か、はい、どうぞ。

○間瀬文化振興課長

文化振興基本計画の素案を12月1日からパブリックコメントを実施することについて御了承いただければと思っております。策定の委員会は、昨年11月に開催いたしまして、10月の9日、まちづくりトークで参加いただいた逗子市民の方からの御意見を伺い、11月1日、教育委員の皆さんによる勉強会、それから市役所各課の調整などを行いまして、11月10日に基本計画等策定委員会を開催いたしました。その中の御意見をまだ反映しきれておりませんけ

れども、お手元にお配りしました基本計画の案を作成したところでございます。12月1日からのパブリックコメントに、この素案で出ささせていただければと思ひまして、本日御承認をいただこうと出した次第です。よろしくお願ひいたします。

○村松委員長

はい、ありがとうございます。文化振興課長からお話ありましたように、文化振興基本計画案については、先般11月1日、教育委員会としても課長と交えていろいろと意見交換をいたしました。かなり長時間、意見交換をしたわけで、その中身についてはかなり反映していただいていると思ひます。この問題につきまして、何か御質疑、御意見ありますでしょうか。パブリックコメントはいつから。

○間瀬文化振興課長

12月の1日から1月の5日までを予定しております。

○村松委員長

今、これを原案が承認されましたら、今もお話ありましたように、1カ月ちょっとにわたってパブリックコメントをいただくということになる。

よろしゅうございますか。かなり先般、先ほど申し上げましたように、教育委員会としてはこの基本計画案について、かなり議論し、その議論した結果、反映されておりますから、それほど大きな問題はないだろうというふうに思っております。

それでは、この案について、そのまま素案としてパブリックコメントにかけていただければというふうに思ひます。よろしくお願ひいたします。

それでは、その他何かございますでしょうか。どうぞ。

○竹村委員

先日11月5日に平成22年度神奈川県市町村教育委員会連合会の研修会に委員長と一緒に出席をさせていただきましたので、簡単にその内容についての報告をさせていただきたいと思ひます。よろしいでしょうか。

○村松委員長

はい、よろしくお願ひいたします。

○竹村委員

場所は小田原市生涯学習センターで行われまして、講演会の形をとっております。講師は放送大学教養学部、宮本みち子教授の御講演でした。簡単な説明になってしまいますが、内容といたしましては教育の現状、問題点について、特に経済格差がそのまま子供たちの育

ち、とりわけ進学やその先の就職というところに結びついてきて、格差が広がっている。その進学も、ある程度以上の学歴を持って、なかなか今は就職ということは難しい時代になっている。同時に、経済格差が学力以外に小さいころからの育ちの中で、自己肯定感を持ってない育ちになってしまっていると。ですから、学力以外にも積極的に社会に参加することができない人格をつくり上げてしまう可能性がある。そういう経済格差が、その2点の難しさを生んでいるというような趣旨のお話でした。公立小・中学校の教育委員会の中での話ということで、その中で先生がおっしゃった中で、特に私は心にとめたのは、やはり自己肯定感を持ってない、なかなか家庭の中で自己肯定感を持ってないでいる子供たちに対して、学校の中で、地域社会の中で、どうやって子供たちに自己肯定感を持たせることができるのか、自信をつけさせて社会に送り出すことができるのか、こういったこともこれからとても重要になってくるといふふうに私自身は感じました。

簡単ではありますが、報告とさせていただきます。もし委員長のほうから何か補足があればお願いします。

○村松委員長

はい、ありがとうございます。やはり根本的にはですね、自信のない子供たちが増えているということで、それがどんどん増えてくるということになると、やはり意欲がどんどん低下してくるということは大きいと。これがいろんな経済格差とか、あるいは家庭教育、学校教育の問題にもかかわっているだろうというような話がありました。いずれにしても今、政府がやろうとしている生きる力をどう高めていくか、生きる力を高めるためには、考える力をどこまでしっかりとつけていくかということが非常に大事だろうというふうに思っております。先般もいろいろ出ておりますが、今、大学がほとんど希望者全員大学に入れるようになったというような時代になっても、大学生の中の12.5%は途中で退学すると。残りの87.5%のうち、正規雇用でしっかりと就職できるのは53%しかいないという社会の現実があるわけで、特に中途退校した人たちといったものは、もうこれは正規で就職することはできなくて、ニートになるか非正規雇用で雇われるかしかないと。これが結局20代、30代の先ほどの話の中に大きな問題として現在やはりそれが出てきているというようなことだろうというふうに思っております。いずれにしても経済がしっかりと活性化していかなければ、日本の社会というのはなかなか難しいだろうと。

ただ、先ほど文化振興基本計画でもありますように、経済優先とか、いわゆる豊かな物質の時代、そういったものだけ追求していけば、そういう問題というのが大きく格差が出たと

か、いろいろと社会現象として出るだろうけれど、もう少し心豊かな人材を育てていく。そこにこの文化振興というものの大事さがあると思うんですが、経済より文化ということで、心のゆとりを、貧乏であってもしっかりとした社会に根づいてやっていけば、必ず豊かな生活ができるんだというようなところをどう教えていくかということは、これから日本の社会としては必要だろうというふうに思います。恐らく経済がどんどんどんどん良くなっていくということは難しい時代ですから、物質優先よりも心優先の子供たちをどうつくり上げていくかということが、大人も自覚しなければいけないし、そういったことを子供にしっかり教えていかないといけないなというふうに、つくづく思っております。したがって、フォロー、フォローということで、物質的にフォローしていくというよりも、むしろ心豊かな子供をどこまで育ち上げていくかということ、非常に難しいんですが、大事だなということを先般の研修会の中でも実感をいたしました。そういうことであります。ありがとうございました。

それでは、その他、何かございますでしょうか。

○桑原委員

今の報告を受けましたので、それなりの感想をそれじゃ。今、報告を受けたのが、経済的な理由が大きいかわりに、子供の学力が伴わない、そのことによる自己肯定感の低下ということが大きなところで、講演を聞かれたのかなというふうに伺いました。

その中で、2人の御報告をお聞きした中で、私なりにちょっと2つのキーワードというか、その辺をちょっと感じましたので、お話しさせていただきます。1つは、やはりおっしゃったような価値観の多様化ということが、自己肯定感の低下に対する一つの処方箋になるかなということです。価値観の多様化をどのように実現させていくかというところでは、今、委員長からも心の教育、あったと思うんですが、学校へ行こう週間で、先ほど山西委員の報告がありましたけど、小坪小で私たちが体験させていただいた高木教授の御指導なんですが、そこに新しい価値観を感じる何か芽があったような気がしました。

それはどういうところかといいますと、先生の御指導の中、かなり従来の指導の方法と対極になるような方法でしたので、戸惑われている先生もいらっしゃるようでしたけれども、その方法論は別として、高木先生がおっしゃっていたのが、気づくということ、待つということが大事だというふうにおっしゃっていたんですね。そういった意味では、いわゆるスピードを早く理解するとか、他と争うということよりも、自分自身の中に発見していくことの大切さ、そしてそれを待つことが大切なんだというような授業をするようなというお話でしたので、こういった体験をしていくことによって、いわゆる競争だけでないところに

価値があるであるとか、自分自身の何か発見が何か可能性を持っているということにつながるのではないかというふうに思いましたので、このような研修が活かされてくるんじゃないかということを感じました。

あともう一つは、逗子で取り組んでいることにも関連すると思って発言させていただいているんですが、自己肯定感が低いという場合は、やっぱり自分自身を認められないということがあると思うんですが、やはり一つの完結としては、まちや学校に自分の居場所があるという感覚が非常に大事だと思うんですね。それは優秀であるとか、経済力にかかわらず、自分がこのまちや学校に存在していいという、自分への承認ですとか、あとそういった自分が役に立っているという感覚は非常に有効だというふうに私が長年活動した中でも実感しているところです。そういった意味では、今の学校の取り組みや地域の取り組みというのは、自分がいろいろな能力を持って、この学校やまちにかかわることができるというのは、先生も児童たちも、また保護者の方、地域の方も感じる場面が多く提供できているのではないかなというふうに思っています。

あと、あわせてこの文化振興もそうなんですが、文化が豊かだということが、まちや学校の誇りにもなっていくと思いますので、こういういい面を今の研修のところのものに結びつけて発展させていただければ、非常に可能性があるんじゃないかなと感じましたので、発言させていただきました。

○村松委員長

はい、ありがとうございます。まさにそのとおりです。はい、どうぞ。

○山西委員

皆さんが発言されてますが、私も一言。今、本当にそれぞれの委員の方がおっしゃったこととほとんど内容には重なっているんですが、やはり今の社会というのは、私から言うと大きな変動期にある。近代という大きな流れが、いろんな意味で形を変えつつある中で、一昨年の経済危機、金融危機というのは、やはり今までのあまりにも経済主導型の社会のありようというのは、どれだけ大きな問題を抱えているかということが非常に顕在化した。とは言いながら、やっぱり私たちの社会が非常に経済に依存してきていますので、そう簡単にとろっと変わるわけではない。ですから、今、当然若者であろうが、企業社会であろうが、大きくやはり従来の経済的な意味での価値に力点を置く大きな社会の流れと、若干それとは違うだろうと。本来的にやっぱりその根底にある例えば文化、さっきから出てます、例えば自然とのかかわりであるとか、福祉的な問題であるとか、やっぱりそういったところにもう少

し置いて、もう少し時間的にもゆったりとした中で、そういった新しい価値を醸成していくようなプロセス、やはりそこも必要だろうという。その中で、結局多様化しつつも、そこでどう選択していけるかという、私はやはりここに一つの、一人ひとりの人間がそれを多様な価値の中で自分たちの大切なものをどう選択していくか、そのプロセスを学びの中でどうつくり出せるか。これは個人の選択ではなくて、恐らく共同型の選択をしていかない限り、個人がいくら自分の価値をといても、それが大きな流れにならないと、時には非常に分散化した社会になっていきますから、共同性の中で自分たちが大切なものを選びとれる力をどのように学校もしくは社会教育含めて、いろんな場で作くり出していけるのか。そういう時代に今、入ってきていて、これが恐らくあと10年、20年ぐらい続く中で恐らく今後の私たちの社会のありようというのが見えてくるかなというところがあります。そういう面では丁寧に教育、文化というところからかかわっていくことが必要だろうなど、改めて感じています。以上です。

○村松委員長

はい、ありがとうございます。はい、どうぞ。

○竹村委員

貴重な御意見をいただいたので、私もじゃあ報告だけではなくて、意見を述べさせていただきたいと思います。

先ほどの私の報告の中であった経済格差が、経済依存型の社会から多様な価値観へいくべきだという皆さんの御指摘のとおりだと私も思っております。ただ、その中で例えば学校において多様な価値観を認められるような教育をしていく中で、例えば授業時数増加とか、学習指導要領改定に伴う学校の大変忙しい現状の中でそれをどういうふうに現実的に行えるのかというのは、なかなか今の段階では難しい部分があると思います。また、その教職員の皆様がそのことについてどういうふうにとらえていくのかということについても、まだまだ十分じゃないところがとても多いと思います。何より家庭教育について、生まれてから本当に小さい育ちの中で、彼らに多様な価値観を含めて彼らに自己肯定感をきちっと与えてあげられるような家庭教育についても、積極的に取り組んでいかなければ、なかなかそういう自信を持って社会に巣立っていける子供は育たないのではないかなというふうに考えております。経済的に苦しい立場にある人たちは、なかなか社会に参加する機会を得たり与えたりすることも難しいというふうに、講演会の中でも先生おっしゃってましたので、そういう一つでも多くの自信を得ることができるチャンスをやはりつくり出していくということがとても重

要ではないかなというふうに私は思いました。以上です。

○村松委員長

はい、ありがとうございました。いろいろと各委員から意見が出されました。いずれにいたしましても、かなり教育というは大変な問題を抱えておられて、どう子供たちの将来にいろいろとサゼスチョンしていくことができるかどうかというのは重要だろうというふうに思っております。

それでは、その他ございますでしょうか。

それでは、ないようですので、以上でその他についてを終わりいたします。

次回の定例会についてですが、12月22日（水曜日）午前10時からを予定しております。決定については改めて委員に御通知いたします。

以上で本日の日程はすべて終了しました。これをもちまして、教育委員会11月定例会を終了いたします。ありがとうございました。